



話し上手な子どもに育てる方法

－ 司法面接の技法を使って－

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.

講師自己紹介



- ◆ 家庭裁判所調査官って？

- ◆ どうして子どもの専門家なの？

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.



司法面接の歴史と現在



◆ 司法面接が誕生した背景

- ・子どもの証言が生んだ冤罪
- ・聞き方に潜む問題

◆ 司法面接が現在の形になるまでの経過

- ・子どもの供述の鑑定
- ・初めから適切な聞き方を

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.



司法面接の全体像



◆ 司法面接の特徴

- 特徴 1 : 子どもに負担がかからない
- 特徴 2 : 間違った誘導をしない
- 特徴 3 : 子どもの自由な発言を促し、発言量を増やす

◆ 司法面接の構造

- 1 導入
- 2 質問と自由報告
- 3 ブレイクと質問
- 4 クロージング

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.



司法面接 1（導入）



◆ 導入でやること

- 1 挨拶と説明
- 2 グラウンドルールの説明
- 3 ラポール形成
- 4 出来事を思い出して話す練習

◆ 育児の場面に当てはめると

- 例) 子どもがいじめられているみたい・・・
- 1 子どもに「話したいことがある」と説明
 - 2 嘘をつかずに真実を話してほしいこと等を説明
 - 3 子どもの話しやすい雰囲気作り
 - 4 他の話題でリラックスしてから

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.



司法面接 2（質問と自由報告）



◆ 司法面接のかなめは質問の仕方

- 1 : オープン質問（「もっと話してくれる？」「それで？」）
- 2 : WH質問（「いつ」「どこで」「誰が」）
- 3 : クローズド質問（「はい／いいえ」で答えを求めるような質問）
- 4 : 確認・誘導質問（「〇〇さんに叩かれたの？」「〇〇にいじめられてるんでしょう？」）

◆ 子育ての場面では・・・

- 1 : 「今日、どうだった？」
- 2 : 「今日、学校どうだった？」「誰と遊んだの？」
- 3 : 「今日、学校楽しかった？」
- 4 : 「今日、6時間目まであったから疲れたでしょう。」

Copyright 2017 こころテラス All rights reserved.

